



はやぶさ

山形市立第一中学校
第2学年通信
2023/11/6
文責

東北大会で全員自己ベストで走る！

10月28日(土)山形県総合運動公園で東北中学校駅伝競走大会が行われました。中学生男子の駅伝は6人で襷をつなぎます。そのなかで、5区をさん、6区をさんが走りました。チーム一丸となって、県大会のときの一中の記録を超えること(できれば60分を切ること)、個人の自己ベストで走ることを目標に東北大会に臨みました。結果は22チーム中14位、タイムは58分38秒。14位という数字は普通に見えるかもしれませんが、県大会では上から6番目の順位で東北大会では県内のチームのなかで上から3番目の順位だったのです。NDソフトスタジアムで何度も試走を重ね、個人のタイムも少しずつ上昇し毎日の練習の成果が見え始めたところで、10分の壁をなかなか越えられなかった2年生の2人は、とうとう本番で10分の壁を破り9分台で走りきり、チームに大きく貢献しました。いつも応援してくれた生徒の皆さん、先生方に感謝しています。そして、毎朝、早い時間にお子さんを送り出して補食やおにぎりを持たせていただき、ありがとうございます。家庭のご協力のおかげで、練習ができ上位の大会に出場することができました。これからも、どうかよろしくお願いします。

2年生の駅伝メンバー6名が大会後に書いた思いを紹介します。

◆2年1組 さん

まず、駅伝部への熱い応援、清掃の時間に、私達の方までの掃除本当にありがとうございました。ちょうど1年前に2年生は駅伝を始めました。冬の寒い時、夏の暑い日など、様々なきつい練習を行ってきました。しかし、誰一人として弱音を吐かず、メンバーもサポートメンバーもやり通しました。そして先生をはじめとするたくさんの先生方や家族そして一中生のみなさんのおかげです。最後に、この“駅伝”という競技はとてもきつい練習が多いですが、練習した分だけ速くなる、仲間とタイムを高め合える楽しく最高のスポーツです。ぜひ、駅伝部にきて、タイムを競い高め合いませんか？男女駅伝部一同楽しみにしています。

◆2年2組 さん

駅伝大会を振り返って、僕は本番では走ることはできなかったが、いい応援をすることができたと思います。きつい練習をし、11分をきることができました。この経験を生かして、いろいろなことに挑戦していきたいです。

◆2年2組 さん

僕が駅伝大会を終えて思ったことは、練習は大事だということでした。きつい練習が多く、ついていけなかった回数の方が、ついていけた回数よりも断然多かったです。ですが、仲間がいたおかげで頑張れたと思います。僕は山形市の大会と東北大会を走りました。市の大会、県大会前の試走では10分後半くらいでした。ですが、東北大会では、10分の壁を破って9分台で走れました。しかも、6人全員が9分台でした。応援してくれた方々への感謝を忘れないです。

◆2年2組 さん

僕は約1年間の駅伝を通して、仲間の大切さを学びました。駅伝の仲間達は、つらい時でも僕を励ましてくれて、そのおかげでタイムを縮めることができました。その中で、チームワークを強くする仲間の大切さを学ぶことができました。駅伝を通じて学年や部活などを超えた経験ができます。皆さん一緒に走りませんか？

◆2年4組 さん

県大会後、けがをしてしまい、東北大会への練習のメニューを皆と同じくこなせず、先輩方との練習もあまりできず、悔しい思いでいっぱいですが、僕達には来年もあるので来年は万全な状態で大会に臨めるように、体のケアをしっかりと取り組んでいきたいです。

◆2年5組 さん

1年間駅伝をやって大変だったけど楽しかった。練習は楽しいことよりもつらいことの方が多かったけど、仲間と一緒に乗り越えることができた。県大会前から貧血になり練習もできないし、タイムがどんどん落ちていき悔しかった。今年はずっとサポートだったので、来年は選手になり10分を切れるようにしたい。そして、チームとしては、今年の記録を超え東北大会で上位をねらって頑張っていきたい。